

感染症週報〔市内週報 平成26年第39週〕

感染症発生動向調査

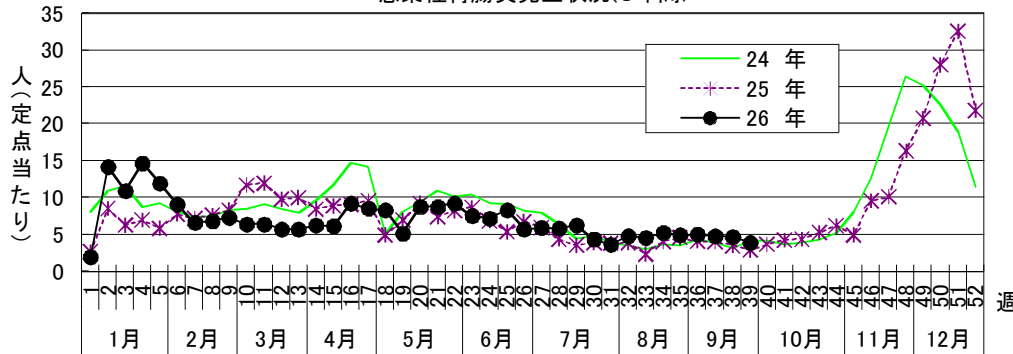
平成26年9月30日

平成26年第39週感染症発生状況【川崎市内】

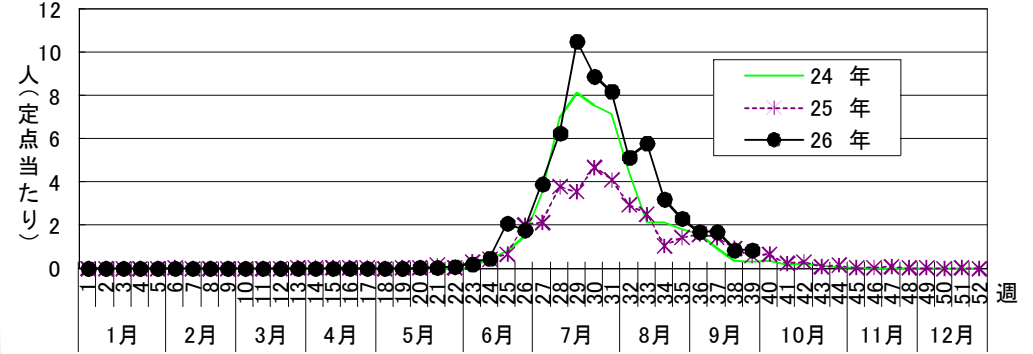
平成26年9月22日～9月28日

5類感染症(定点把握疾患)等	全数把握疾患	届出(第39週)	累計(平成26年第1週以降)
<p>第39週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)ヘルパンギーナでした。 感染性胃腸炎は定点当たり4.00人と前週(4.70)から患者報告数は減少し、例年とほぼ同じレベルで推移しています。 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり0.94人と前週(0.70)から患者報告数はほぼ横ばいで、例年とほぼ同じレベルで推移しています。 ヘルパンギーナは定点当たり0.85人と前週(0.88)から患者報告数はほぼ横ばいで、例年とほぼ同じレベルで推移しています。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 3件	結核 211件
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1件	腸管出血性大腸菌感染症 56件、腸チフス 1件
	4類感染症	なし	E型肝炎 2件、A型肝炎 9件、オウム病 4件 チクングニア熱 1件、デング熱 3件、日本紅斑熱 1件 レジオネラ症 11件、レプトスピラ症 1件
	5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症 1件 梅毒 1件	アメーバ赤痢 12件、ウイルス性肝炎 2件、急性脳炎 11件 クロイツフェルト・ヤコブ病 1件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 後天性免疫不全症候群 17件、ジアルジア症 1件 侵襲性インフルエンザ菌感染症 3件、侵襲性髄膜炎菌感染症 1件 侵襲性肺炎球菌感染症 26件、梅毒 24件、 破傷風 1件、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件 風しん 15件(臨床診断例9件、検査診断例6件) 麻しん 13件(検査診断例10件、臨床診断例1件、修飾麻しん2件)

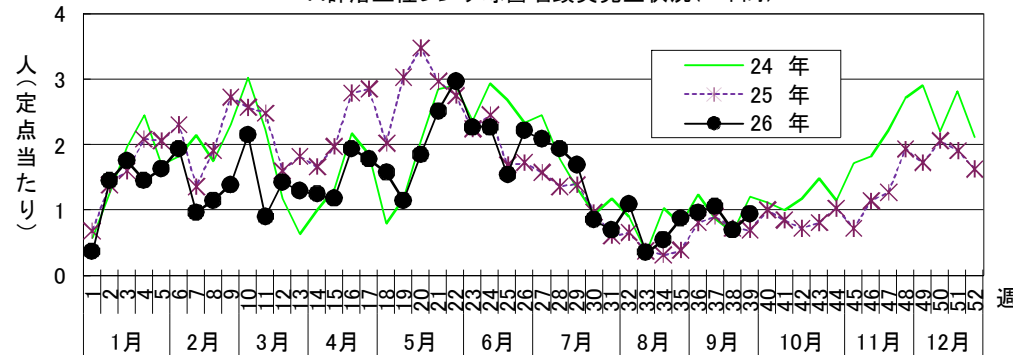
感染性胃腸炎発生状況(3年間)



ヘルパンギーナ発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



水痘発生状況(3年間)

